

# = 蒲都市職員給与公表 =



## ▶ 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (平成8年4月1日現在)

一般行政職	大学卒	10年	274,200 <sup>円</sup>
		15年	313,100 <sup>円</sup>
		20年	373,800 <sup>円</sup>
	高校卒	10年	232,900 <sup>円</sup>
		15年	282,300 <sup>円</sup>
		20年	320,500 <sup>円</sup>
労務職	高校卒	10年	208,790 <sup>円</sup>
		15年	239,350 <sup>円</sup>
		20年	287,000 <sup>円</sup>

## ▶ 一般行政職の級別職員数の状況 (平成8年4月1日現在)

区分	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	部長	次長	課長	課長補佐	係長	主任	主事	主事	主事補	主事補	
職員数	13 <sup>人</sup>	16 <sup>人</sup>	49 <sup>人</sup>	55 <sup>人</sup>	194 <sup>人</sup>	108 <sup>人</sup>	100 <sup>人</sup>	51 <sup>人</sup>	61 <sup>人</sup>	15 <sup>人</sup>	662 <sup>人</sup>
構成比 (%)	平成8年	2.0	2.4	7.4	8.3	29.3	16.3	15.1	7.7	9.2	2.3
	平成7年	2.0	1.5	7.5	8.2	27.6	15.0	20.6	6.6	8.4	2.6

## ▶ 昇給期間短縮の状況

(一般行政職)

区分	7年度	6年度
職員数(A)	662 <sup>人</sup>	655 <sup>人</sup>
普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数(B)	75 <sup>人</sup>	80 <sup>人</sup>
比率(B)/(A)	11.3%	12.2%

## ▶ 定員の状況 (各年4月1日現在)

区分	職員数	対前年増減数			平成8年の職員数の主な増減理由			
		6年	7年	8年				
部門		6年	7年	8年				
一般行政部門	議会	8	9	9	0	1	0	
	総務	107	99	103	5	△8	4	地域情報化、自治体ネットワーク業務の充実等
	税務	37	39	38	0	2	△1	市税滞納徴収業務の見直し
	民生	210	212	215	4	2	3	特別保育事業の充実等
	衛生	64	69	77	△4	5	8	新看護専門学校の開校準備、健康推進体制の充実等
	農林水産	24	23	24	0	△1	1	蒲郡調整池業務の充実
	商工・観光	14	16	16	0	2	0	
土木	78	78	78	△4	0	0		
小計	542	545	560	1	3	15		
特別行政部門	教育	108	108	101	△3	0	△7	給食調理部門の合理化等
	消防	100	101	103	4	1	2	消防業務体制の充実
	小計	208	209	204	1	1	△5	
普通会計	750	754	764	2	4	10		
公営企業等会計部門	病院	362	392	406	19	30	14	看護体制の強化
	水道	32	30	30	1	△2	0	
	下水道	32	31	31	0	△1	0	
	その他	113	112	108	△3	△1	△4	区画整理部門の合理化等
小計	539	565	575	17	26	10		
合計	1,289	1,319	1,339	19	30	20		

(注)職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く。